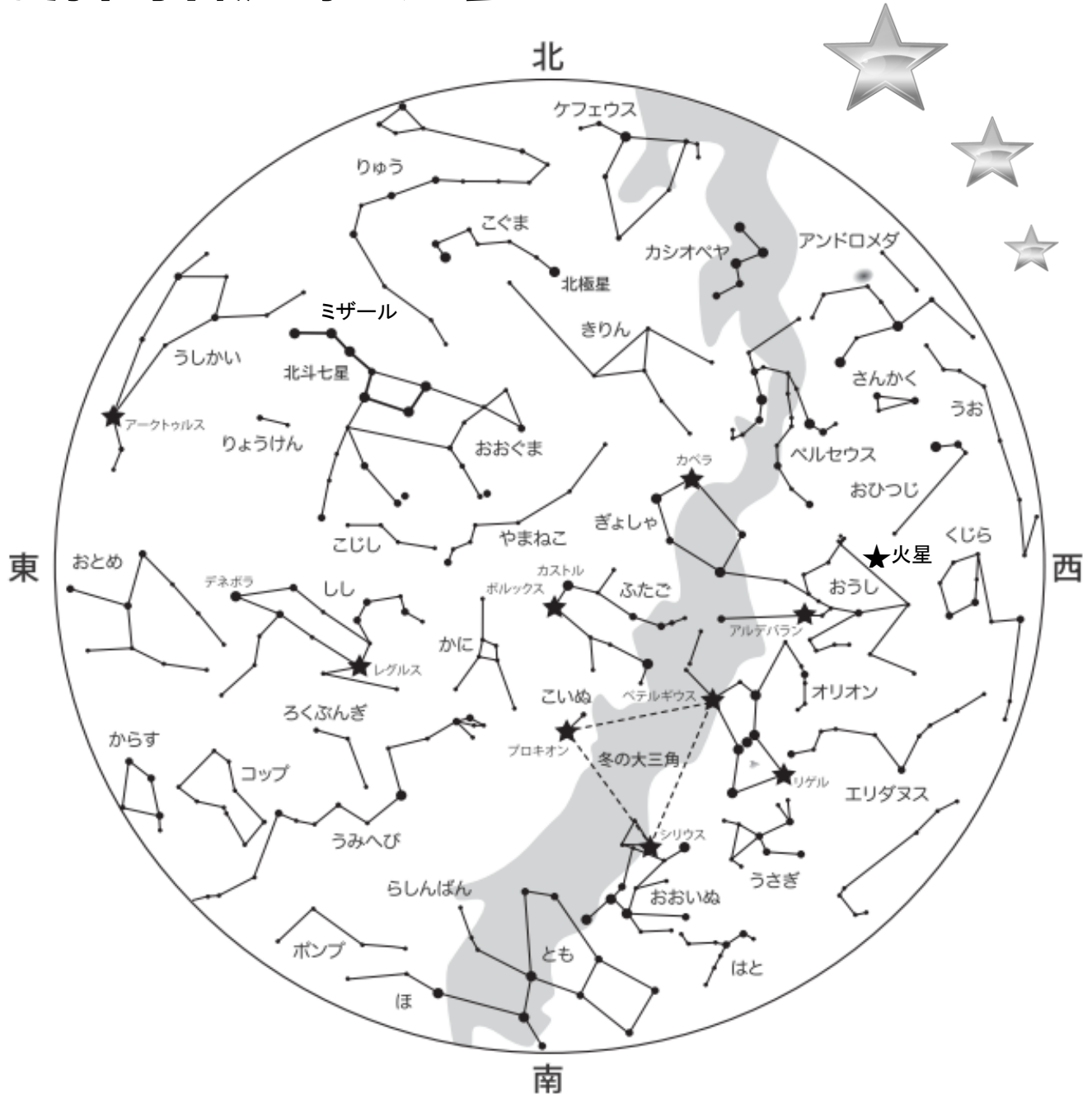


# 松江市立天文台～3月の天文教室～

平成31年 3月27日

## 3月下旬午後8時ころの星

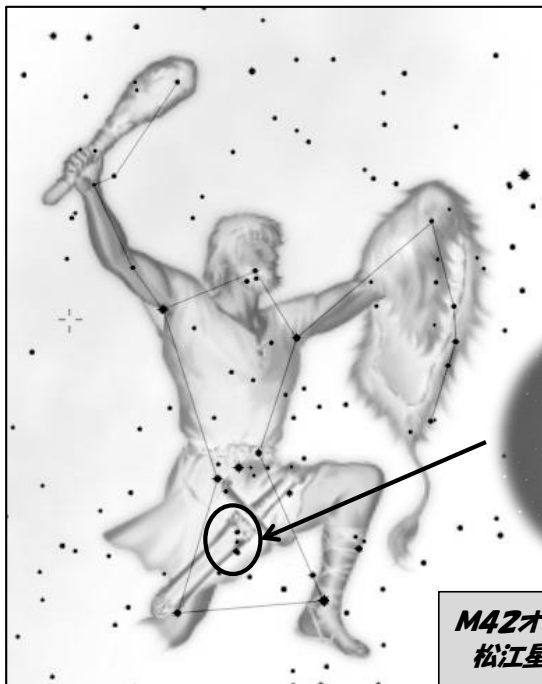


桜の便りが各地から届くようになり、季節が冬から春に変わったのが実感されます。  
それとともに日が長くなり、日没が午後6時半近くになりました。  
暗くなった南西の空には、オリオン座、おおいぬ座、こいぬ座、ふたご座など冬の星座が見えています  
が、東からは、しし座、おおぐま座など春の星座たちが昇ってきます。  
見つけやすい星座なので、探してみてください。

3月下旬午後8時頃の星空です。  
月は夜半過ぎに東から昇りますから、この時刻には見えません。  
この星図で星を探すときは、見る方角を下にしてみましょう。

# 今見える代表的な星座を紹介します

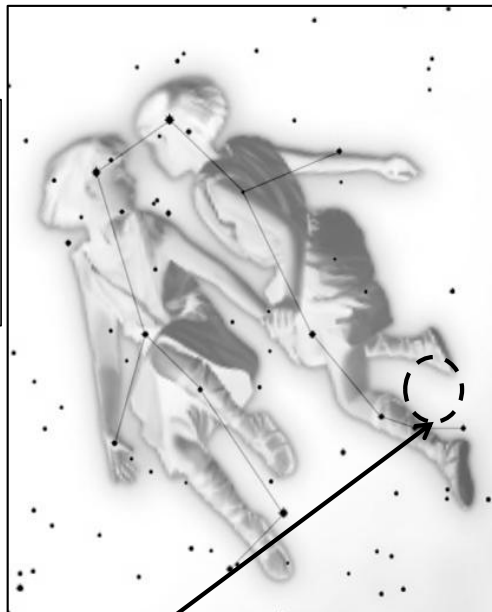
## オリオン座



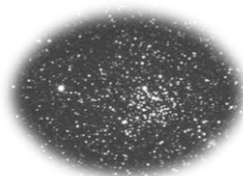
M42は、オリオン座の大星雲とも呼ばれ、地球から1300光年の距離にある散光星雲です。

M42オリオン座の大星雲  
松江星の会 古都さん撮影

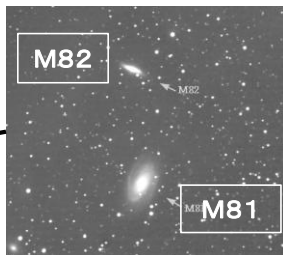
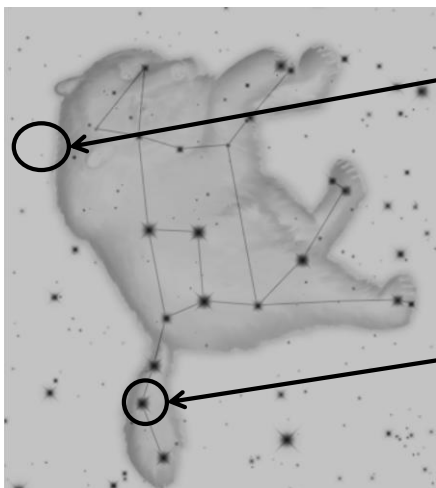
## ふたご座



M35は、地球から2570光年にある散開星団です。



## おおぐま座



M81とM82のふたつの銀河は、天体望遠鏡で同じ視野に見ることができます。距離はともに1790万光年といわれています。

アルコル

ミザール

ミザールのそばにはアルコルという小さな星があるのが肉眼でもわかります。

さらにミザールを天体望遠鏡で見ると、二つの星にわかれて見えます。

天文のデータは主に天文年鑑から引用しています。  
使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆に見えます。  
また、空のコンディション(雲、透明度)により、天体の見え方は違います。

## 次回の天文教室

開催日 4月10日(水) 20時から21時まで  
(受付は19時30分から市役所正面玄関で行います。)  
事前の予約は不要です。



★ MAC Matsue Astronomy Club  
松江星の会